



負けてたまるか！

東日本大震災

米沢支部の講演会と会員交流いも煮会が、昨年10月1日、ホテルサンルート米沢で開催されました。講演会は、岩手県中核観光コーディネーター

で東日本大震災の復興支援活動に取り組む草野悟さんを講師に迎え、「大震災・三陸の被災状況と支援の現状」と題して講演。草野さんは、過年、上杉鷹山生誕250年祭の総合プロデューサーを務められ、現在KPO草野プランニングオフィス社長、三陸鉄道総合企画アドバイザーなどを務められています。講演では、被災現地の様子をスライドを使って紹介しながら、「当初は被害の大きさにギブアップするしかないと思ったが、半年で復興に動いている。我々には復活する力がある。」と力説。一方、これまで他人を気遣い自分を抑えてきた被災者が、仮設住宅での生活に伴い、家庭内での争いやアルコール依存といった問題が起きている現状を語り、今後の大きな課題であると指摘しました。また、災害孤児への支援がかなり弱く基金もないことや、被災地での冬季における生活支援など、「被災弱者に視点を置いた活動の必要性」を訴えました。

講演会終了後、交流大いも煮会に移り、参加者たちはいも煮を囲んで大いに交流を深めました。



第 24 号

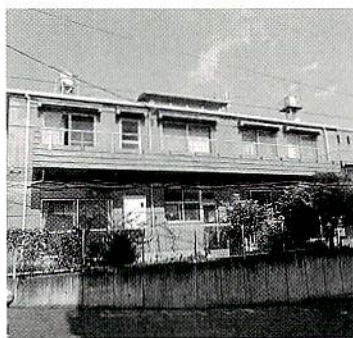
平成24年 2 月20日

発行者

(社)米沢有為会米沢支部
支部長 安部三十郎

米沢市金池5-2-25
☎ 0238-22-5111

米沢支部から高橋勉副支部長、鈴木幸一常務理事、そして私の三名が参加することになり、十月八日の十二時頃、仙台興譲館寮に到着。御供政敏館長、安部玄樹寮長に館内を案内してもらいました。間取りが斬新、初めての訪問なので何階にいるかわからない感じがする構造。正面から撮った写真からは想像できない、でも工夫された建物だなと思いました。



米沢有為会百二十周年の折、東京、仙台の寮の整備補修が取り上げられ、各館長からその状況を聞きました。会議等で利用する度に見ている東京興譲館寮の話はわかるが、仙台興譲館寮についてはよくわからない。見せてほしいと仙台支部に持ちかけたところ、寮を見に来るだけでなく、仙台支部の秋の懇親会（芋煮会）があるからそれにも参加して下さいという案内を頂いたのです。

芋煮会の場所は寮から少し降りていった牛越橋たもとの広瀬川河原。歩いてすぐのところ、広々として芋煮会には格好の場所。さらにその日はまさしく秋らしく爽やかな芋煮会日和の天候だったから、たくさんさんのグループが集っていました。仙台支部の会員を始め寮生、米沢から参加した寮生のご両親、米沢に寮母さんがおられました。芋煮会は午後二時から始まり、芋煮を食べ、酒を酌み交わし、しゃべり、余興をするほどに盛り上がりました。寮生の決意表明はなかなかよかったです。午後四時頃我々はおいとまし、鈴木常務の車で帰路に着きました。支部間の交流を通して分かり合う、感じ合うことが必要ということを実感した仙台支部訪問の一日でした。



仙台支部との交流会

総務部長
手塚 修

我妻榮記念館

開館二十周年記念事業について

民法学者で文化勲章受章者、名誉市民の我妻榮先生の生家が米沢有為会で取得し、平成四年に我妻榮記念館として開館してから二十周年になります。この機会に我妻先生の偉業や敬師の心、郷土愛を改めて学び地域の人材育成や教育文化活動に資する記念事業を計画しています。行事と事業について計画案をお知らせいたします。

行事・記念講演会

講師 我妻堯先生（榮先生の次男）医学博士
（財）国際協力医学研究振興財団常務理事、我妻榮記念館名誉館長

期 日 平成二十四年六月三十日（土）午後四時～五時
（米沢有為会総会日）

場 所 伝国の杜大会議室
（上杉城史苑（午後五時三十分））
会費制

事業・計画

- ①文書類の整備（新図書館への寄託活用検討）
- ②文書閲覧システムの構築
- ③記念館展示の改善
- ④紹介ビデオの制作
- ⑤除雪対策
- ⑥記念館の保存計画策定
- ⑦青少年向け小冊子の発行配布など二～三年間の記念事業を計画したいと考えています。



冬の記念館

新しく会員になられた方々（敬称略）

（平成二十四年二月十三日現在）

青木 昭博	片倉 和之	竹田 重隆	船山 彰博	和田 博文
荒川 修一	金子 茂	竹田 鉄夫	舟山 潤	渡邊 正三
石田 和弘	菅野 利和	棚村 正	星 洋志	〔賛助会員〕
岩倉 由美	佐藤 嘉一	丹野 宣秀	本田 哲雄	（株）羽陽印刷
海野 耕二	鈴木 正人	富樫 貞皓	松崎 正芳	
遠藤 誠	砂川 和彦	豊嶋 克彦	山口 芳弘	
大江 昌信	高橋 聡	長濱 洋美	山崎 公彦	
大津 清	高橋 美香	船山 章弘	山田 真一	

まちの話 題

『おきたま雛回廊二〇一二』の開催

〔展示場所〕

▼米沢市：「東光の酒蔵」、「米澤民藝館」、
「上杉伯爵邸」、「米沢市上杉博物館」、
「（株）白根澤」

▼南陽市：「結城豊太郎記念館」

▼白鷹町：「あゆ茶屋」、「荒砥駅資料館」

▼川西町：玉庭地区の民家七軒に飾られた雛人形をタクシーで巡る企画「玉庭ひなめぐり」

（入館の際は一部有料の施設があります。）

かつて川の道として栄えた最上川は、紅花をはじめ、多くの物資を京や江戸へ運び、帰りの船には仏像や鮮やかな衣装など、華やかな京・江戸文化を載せて戻りました。その文化のひとつが雛人形です。

置賜地方には、享保雛や古今雛など、旧家に伝えられてきた貴重な雛人形が数多く残されています。これらのお雛様を啓翁桜とともに紹介したり、様々なイベントを開催して冬の置賜地方を楽しんでいただくのが「おきたま雛回廊」です。

その二〇一二年のオープニングセレモニーが、二月一日に米沢市の伝国の杜で行われました。今季は、米沢市、南陽市、川西町、白鷹町の各所で開催。最長四月下旬までの間、それぞれが設定した期間において雛人形が公開されるほか、草木染の着物や漆器など当時の文化を知ることができ、新たな試みとして、米沢市の上杉博物館では、幼児を対象として、ひな人形衣装の無料着付け体験「わたしもおひなさま」を行っています。



酒造資料館東光の酒蔵の雛飾り

リレー随想 ⑩

寮の建て替えは大変だったなあ

米沢市上杉博物館館長
伊藤 和夫

昭和四十年から四年間お世話になった仙台興譲館寮は旧館と新館があった。旧館は確かに古かったが、貧乏学生にとっては安い寮費があり、たく、安心して学生生活を謳歌することができた。三年生になり不肖私に寮長に選ばれた。その頃、東京興譲館寮が新築移転されて、その移転に伴う財産で我が寮旧館の建て替えの話が持ち上がった。三原支部長に連れられて私と二年生の二名が東京での有為会本部会議（おそらく？）に「寮の建て替え、よろしく願います」と頭を下げに行った。そこには日銀総裁である宇佐美会長はじめ有為会の役員の方々がずらりと並び、学生の分際でそのようなえらい方々の前に初めて立った私は緊張で汗が出るは足が震えるは身の縮む思いであった。しかし、ここが勝負とわずか一言二言だったが勇気をふるって声を絞り出した。宇佐美会長から「遠いところよく来たね」と声をかけられたら急に力が抜けた。それが功を奏して（？）とんとんと建設の運びとなったが、大変困っ

たことに建て替えのために完成まで寮生の半数が一時寮を出なければならなくなった。降って湧いた大問題に寮は蜂の巣をつついたようになった。寮生総会を何度も開いて辿り着いた結論は大きな一軒家を借りて移転組が全員そこに入るということになった。寮生の結束を崩したくないという思いからである。不動産屋を介して仙台市長町に一軒家を借りた。ところがこれが大失敗。食事の苦勞を知らない寮生である。移転組は共同自炊に音を上げてしまった。そこを出たという者が出て、結局数カ月後に賃貸契約を解消し、皆ばらばらに下宿やアパートなどを探して暮らすことになってしまった。新館が完成しても寮に戻らない者もいた。寮生活の最後に私には申し訳ない思いと悔しさが痛く心に残った。今思い起こせば、それらは皆青春真っ只中のこと、喜ぶも苦勞も懐かし。



～ 活躍する会員紹介 ～ ⑫

㈱タスクフーズ代表取締役

宮坂 宏 さん



Q 1) 会社のプロフィールをお聞かせ下さい。

米沢で現存する鰻料理店は、今では3軒だけとなりましたが、弊社は一番古く私が7代目、今年で創業163年目になります。鰻料理一本で商いをしてきましたが、平成14年に発生したKHVの風評被害を受けたのをきっかけに、商号を「鰻の宮坂」から、㈱タスクフーズに変更し、リスクヘッジのためカレーやシチュー、いも煮などの食肉を原材料とする加工食品の製造販売にも取り組んでいます。

Q 2) 新ブランドの業績はいかがですか？

どうして鰻屋が食肉加工に手を出すのだという風に、当初は内外で風当たりが強かったのも事実です。しかしおかげさまで平成18年から本格的に製造に当たり、今年度は鰻製品の売上を越しそうな状況です。

Q 3) 商品のコンセプトどんなものですか？

元々商品開発が好きな会社で、得意分野の煮炊きの技術や、既存設備を活かせば、後発でも勝負できると考えていました。最優先事項にしたのは味です。安心・安全は当たり前、とにかく美味しくなければ売れないと考えました。例えばカレーのスパイスなどは、自社で調合焙煎し、スープもスネや香味野菜を何時間も煮込んだ自家

製を使うという風に、徹底的に手づくり、手間ひまを惜しまぬ製法にこだわっています。

Q 4) 今後の鰻製品の展開をどう考えています？

鰻料理は弊社のコアとなるブランドですので、この先もずっと大事に育て、守ってまいります。残念ながら広告宣伝には使えませんが、毎年天皇陛下の誕生祝賀会の料理に購入していただいております。また昔から日本や中国では、鰻料理の薬効を認め、漢方食として食べてきた食文化もあります。こういった経緯を踏まえ、これからは全国に鰻料理の素晴らしさを喧伝し、少しでも多くの方々に鰻を食べてもらう努力も続けてまいります。またその戦略商品になるべきものも考えています。

Q 5) これからの抱負をお聞かせ下さい。

セゾンファクトリーさんや高島ファームさん、米沢牛黄木さんなど、置賜地方には地域の食材資源を上手に活用し、県内外でも幅広く活躍されている企業が多数あります。このように身近には、地域社会にもお客様に認められ、指名されるような素晴らしいお手本があるので、いつかはみなさんと肩を並べられるような食品メーカーになることを目標にしています。

もう一つ米国で鰻を食する文化を広めたいという夢も持っています。今、米国では鰻や鰻の仲間が全土で異常繁殖して大問題になっています。これらの鰻を食品に加工し米国のマーケットで販売するというものです。雲を掴むような壮大なプロジェクトですが、必ず実現させるつもりです。

ありがとうございました。

米沢有為会奨学生募集

受験生の皆さんへ！
合格後の学費計画は万全ですか？米沢有為会が奨学金で支援します。

受験前でも応募できます！

- 貸費額：月額4万円
- 募集人員：5名程度
- 面接：3月24日

(伝国の社)

進学担当の先生又は米沢有為会にご相談ください。

(0238-22-5111)

米沢市秘書広報課 鈴木補佐

www://yonezawa-yuukai.org/

編集後記

▼この豪雪で大方の皆さんは「雪の話はもううんざり」とお
思いだろう。だから雪の話は止めよう。そして「春」へと思
いを馳せよう。
▼雪国の春、米沢の春はもうそこまで来ている。春の日差し
は暖かく、雪解けの音も快い。そして花が咲く、桜が咲く。
▼待ち遠しい春が来る。もうしばらく頑張ろう。
(山)

社団法人 米沢有為会の育英事業

平成24年度

新入寮生募集



郷土の仲間と一緒に
東京・仙台での学生生活

置賜地域3市5町の在住者を対象に募集しています。



東京興譲館寮 東京都調布市入間町 1-36

募集人員：10名程度

寮費：47,000円～(朝夕2食付き)



仙台興譲館寮

仙台市青葉区角五郎 2-6-21

募集人員：5名程度

寮費：37,000円～(朝夕2食付き)



問合せ先

東京興譲館：03-3309-3302

仙台興譲館：022-222-4790

米沢市役所(秘書広報課)内 米沢有為会 米沢支部 0238-22-5111(内 2011)

募集要項などの
くわしいことは

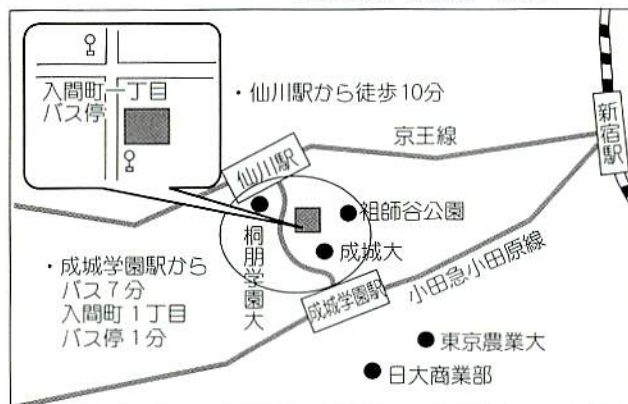
米沢有為会ホームページ
http://www.yonezawa-yuukai.org/

米沢有為会

検索

東京興譲館寮：東京都調布市入間町1-36

TEL：03-3309-3302



仙台興譲館寮：仙台市青葉区角五郎2-6-21

TEL：022-222-4790

